

令和8年度 【前期】アンケート結果の考察

【保護者】

- 全11項目中7項目において、肯定的評価（「よくあてはまる」、「あてはまる」を合わせた割合が95%を超えている）をしていただいた。学校の取組や児童の様子にある程度満足していただいていると考えている。
- ▲ 「地域や学校で、進んで挨拶をしている」については、約10%の方が「あまりあてはまらない」と回答している。今後も、児童会を中心とした挨拶活動の活性化に努めるとともに、家庭への啓発を行っていきたい。
「家庭でテレビやゲームなどのルールを設けている」については、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」と回答された割合が約10%となっている。日頃からのメディアコントロールについて、家庭と連携した取組が必要であると思われる。

【児童】

- 8項目のうち7項目で、肯定的評価（「よくあてはまる」、「あてはまる」を合わせた割合）が、93%を超えている。このことから、ほとんどの児童が充実した学校生活を送ることができていると考える。
- ▲ 「早寝・早起き・朝ごはん」の項目は、「あてはまらない」と「まったくあてはまらない」を合わせた割合が6.8%（11人）となっている。家庭への啓発を継続していきたい。
- ▲ ゲームやスマホの使用時間が守れない児童の割合が約14%と高くなっている。

【教職員】

- 「十分達成」及び「ほぼ達成」を合わせると100%となる項目が18あり、日々児童のために努力していることがうかがえる。
- ▲ 「言語活動の充実と表現力の育成」、「学力調査を授業に生かす」、「地域人材の活用、協力の呼び掛け」の達成率が60%台である。今後、改善に向け、日々の授業改善に努めるとともに校内研修等で協議していきたい。
「地域とのつながり」については、学校運営協議会との連携を図りながら、地域と共にある学校づくりに努めていきたい。